

平成30年9月3日
沖縄気象台

夏（6月～8月）の沖縄地方の降水量が過去最多

2018年夏（6月～8月）の沖縄地方における地域平均の降水量平年比¹は185%で、統計を開始した1946年以来最も大きい値となりました。

1. 2018年夏（6月～8月）の沖縄地方の降水量

- 2018年夏の沖縄地方の地域平均降水量平年比¹ 185%（第1位）

	降水量 (mm)	平年比 (%)
那覇	957.5	152
久米島	911.5	161
宮古島	1303.0	225
石垣島	1166.5	195
与那国島	980.5	190
沖縄地方		185

- 地域平均降水量平年比の大きい順位

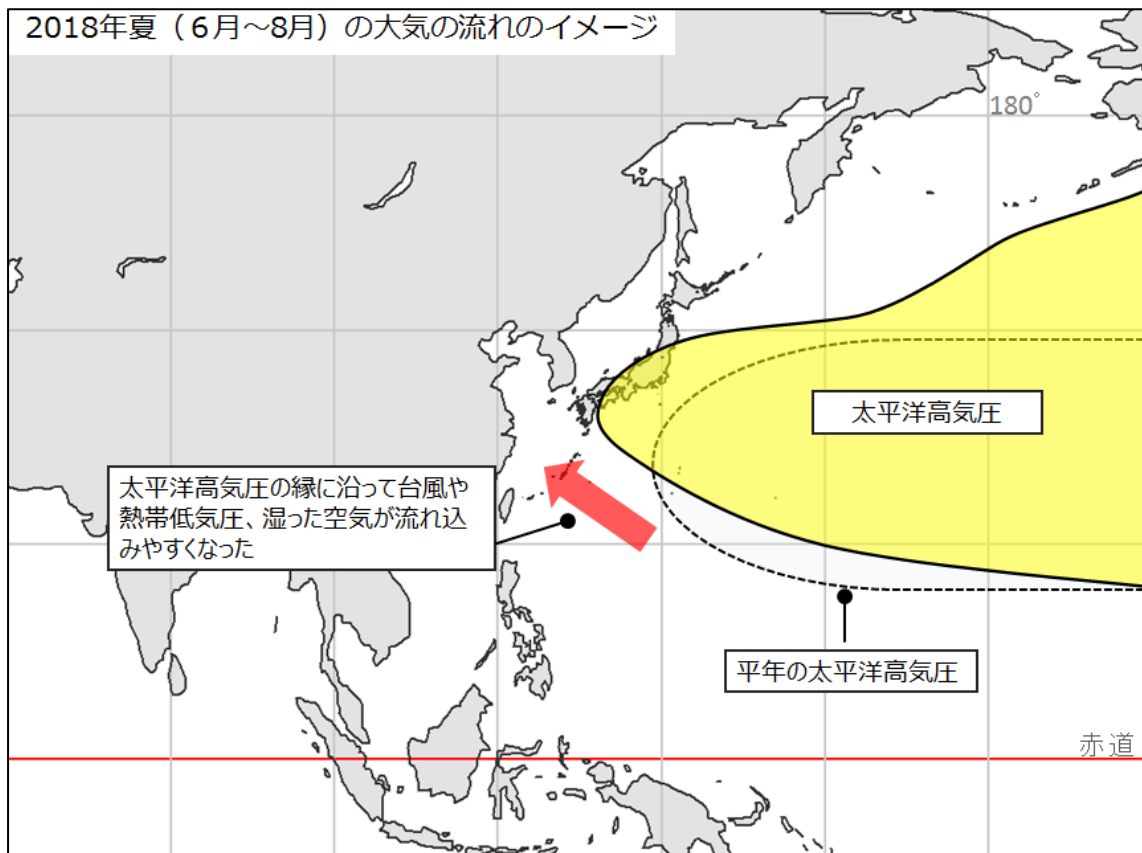
順位	年	地域平均降水量平年比 (%)
1	2018	185
2	2005	172
3	1972	165
4	1949	157
5	1955	153

問合せ先：沖縄気象台 地球環境・海洋課 担当 松長・安井
電話：098-918-4012 FAX：098-833-4292

¹ 沖縄地方における地域平均降水量平年比は、那覇、久米島、宮古島、石垣島及び与那国島の5地点における降水量の平年比を平均することにより算出しています。

2. 多雨となった要因

7月から8月にかけて、太平洋高気圧は平年に比べて本州付近への張り出しが強くなりました。太平洋高気圧の縁に沿って台風や熱帯低気圧、湿った空気が沖縄地方に流れ込みやすくなりました。また、今年の夏（6月～8月）に沖縄地方に接近した台風²は9個³（平年値4.2個）で、平年の2倍以上となりました。これらの影響によって、夏（6月～8月）は記録的な降水量となりました。特に、7月の沖縄地方の降水量は統計を開始した1946年以来最も大きい値となりました（1位タイ）。各地点の観測値は別紙のとおりです。



2018年夏（6月～8月）の大気の流れ（沖縄付近）

月別、旬別の沖縄県の天候についての詳細は、「沖縄地方の天候」や「沖縄県農業気象旬報」をご覧ください。

<https://www.jma-net.go.jp/okinawa/data/tenko/tenko.html>

<https://www.jma-net.go.jp/okinawa/data/tenko/nougyo.html>

² 沖縄地方に接近した台風とは、台風の中心が那覇、名護、久米島、宮古島、石垣島、西表島、与那国島、南大東島のいずれかの気象官署等から300km以内に入ることをいいます。

³ 第5号、第6号、第7号、第8号、第10号、第12号、第14号、第18号、第19号

表 各観測地点の夏(6月～8月)の降水量

観測地点	夏の降水量 (mm)	平年値 (mm)	平年比 (%)
那覇	957.5	629.1	152
名護	858.0	643.6	133
久米島	911.5	565.0	161
南大東島	465.0	457.4	102
宮古島	1303.0	578.8	225
石垣島	1166.5	598.6	195
西表島	1179.0	613.0	192
与那国島	980.5	515.1	190

- ・値は速報値であるため修正されることがあります。
- ・平年値の統計期間は1981～2010年です。
- ・夏(6月～8月)の統計は、気象官署及び特別地域気象観測所のみで行っています。